



世界に希望を生み出そう

広島東南ロータリークラブ

2024年3月18日（第2909回例会）

例会日 月曜日 ANAクラウンプラザホテル広島 TEL241-1111

事務所 リーガロイヤルホテル広島13階 TEL221-4894

会長 柄 博治 幹事 山仲 巖

3月は「水と衛生月間」です。

3月ロータリーレート 151円



本日の例会

12:30 点 鐘

ロータリーソング「それでこそロータリー」

来客紹介 (親睦委員会)

会食

12:45 会長時間

(柄 会長)

幹事報告

(山仲幹事)

委員会報告

・出席報告

(出席担当)

・その他

同好会報告

S.A.A.

13:00 プログラム

13:30 点 鐘

会長時間

○嶋本文雄ガバナー補佐 ご挨拶

○第2回米山功労者マルチプル 表彰

富部秀司会員、上田康博会員、中畝將博会員

○マルチプル・ポールハリスフェロー認証

谷井 智会員 (3回目) 大井克元会員 (2回目)

君島龍輝会員 (1回目)

○ポールハリスフェロー認証

田中 貴会員、佐柳和憲会員、若宮奈美江会員

幹事報告

本日のプログラム

「選手の育成とチーム作り」

広島国際学院高校サッカー部監督 瀬越 徹先生

次回例会 (3月25日)

「新入会員歓迎夜間例会・懇親会」

親睦担当

お知らせ

各種寄付金について

○米山功労者

ロータリー米山記念奨学会へ寄付額の累計が10万円になった方。その後、10万円ごとに第〇回米山功労者マルチプルとなっていくきます。

○ポールハリスフェロー

ロータリー財団に1,000米ドル以上の寄付をした人に認証されます。その後、1,000米ドルごとにマルチプル・ポールハリスフェロー (〇回目) となっていくきます。

他クラブ例会変更・休会情報
(受付12:00~12:30)

3/19 (火) 広島安芸 (グランヴィア)

広島西南 (ANA)

3/21 (木) 広島安佐 (リーガ)

3/22 (金) 広島南 (リーガ)

広島城南 (シェラトン)

3/26 (火) 広島安芸 (グランヴィア)

広島西南 (ANA)

3/29 (金) 広島城南 (シェラトン)

今後の予定

★次年度第1回クラブアッセンブリー

と き 3月18日 (月) 18:30~

ところ ANAクラウンプラザホテル広島

出席対象 次年度理事役員・正副リーダー

○新入会員歓迎夜間例会・懇親会

と き 3月25日 (月) 18:30~

ところ ANAクラウンプラザホテル広島

○職場訪問例会

と き 4月22日 (月)

ところ TOHOBEADS広島工場

11:30 バスにて移動 (集合@ANA)

12:30 例会・昼食・工場の説明等

13:00 工場見学・トーホー記念館見学

14:00 現地出発

15:00 ANA到着・解散

★はメイクアップ対象事業です

1. 真実かどうか 2. みんなに公平か 3. 好意と友情を深めるか 4. みんなのためになるかどうか



一般社団法人パークは正会員50名賛助会員9名で構成されている社団法人で、不登校児童支援センターパークを運営しています。

まず、自己紹介ですが、36年間教育に関わってきました。校長を9年勤め、2年を残して早期退職しました。今はその経験を生かして公認心理師として不登校支援センターを運営しています。現在増え続けている不登校。これまでは、不登校といっても何とか学校とつながっている子が多かったのですが、学校と全く関われない子どもが増えてきたことが大きかったと思います。

まず不登校とは、文科省によると「年間30日以上欠席した者のうち、病気や経済的な理由による者を除いた者」としています。ですから、起立性調節障害とか自律神経失調症の診断が出た子どもは不登校ではありません。

では不登校の現状を見てみましょう。まずは中学校ですが、平成29年度は2149人でしたが、令和4年度は4678人と2.1倍となっています。16人に1人不登校がいることになります。

さらに小学校を見てみましょう。平成29年度は893人でしたが、令和4年度は2,759人となっています。およそ3倍となります。50人に1人不登校がいるということになります。

次に不登校の現状として文科省の資料を見えます。前年度から引き続き不登校の児童生徒の割合です。小学校1年生の時に不登校の子どもが小学校2年生の不登校のうち30.7%となります。新規に不登校になった子どもが70%ということになります。この割合は年々増加していきます。これを小学校の低学年のうちにケアできれば、全体の不登校の数が減ると考えています。

不登校の要因についてです。実は無気力・不安が約50%となっています。子どもの無気力・不安を解決するために、無理な登校はかえって逆効果になります。

不登校の段階には次の3段階があると考えています。その段階を踏まえて適切な対応が必要です。まず第1段階は登校刺激を与える必要がある段階です。原因が明確な場合は、一緒に課題を解決することが必要です。第2段階は表面的な課題は解決したはずなのに学校へ行きたがらない段階です。1週間も休めば、退屈になって学校へ行こうとします。第3段階はそれでも不登校状態が続く場合です。ここで焦らずじっくり時間をかけることが実は近道となります。

不登校支援の基本は次の3つと考えています。①親・子どもの不安と向き合うこと。子どもは心が元気になれば自分から新しいことにチャレンジします。勉強に向かいます。親が子どもを信じることができるかが大切です。親はほとんど不登校を経験していないし、周りにその例を知らないのです。子どもの将来が不安で仕方がないのです。その不安を解消するために無理に学校へ行かせることが長期化を招きます。

②ロールモデルを示すことも大切です。学校へ行くといいだけではない選択肢はたくさんあるということを子どもに伝えることはとても大切です。

③親子関係の修復です。不登校を抱える過程ではほとんどの会話が学校へ行くか行かないかで構成されることが多いです。子どもの成長する環境としていいことではありません。つらい不登校という現象を親は理解していること。家庭が安全基地として機能することはとても大切です。

私がパルクを設立したのは、この不登校に対応する居場所とカリキュラムが確立していないと考えたからです。

パルクの特長は、学校教育と親和性をもち、費用負担は放課後デイサービス程度の利用しやすく、効果的な支援体制であるところにあります。内容的には、カウンセリングを充実させて、自分の強みを育てることとなります。

具体的には青い鳥カリキュラムを作成して体験型・企業サポート型の学習内容となっています。目標としては学校復帰率60%を目指しています。課題は経営状態の安定化で利用者の利用料ではなく、社会全体が支えるビジネスモデルを構築することです。

これからの不登校支援では、パルクのような居場所をつくることと、未然防止としての相談体制の充実が必要だと考えています。それに対応するために、不登校相談ホットラインを設立します。不登校を抱える保護者は精神的な負荷が大きく、パフォーマンスが下がります。不登校になったからといって親が離職してしまうとかえって自立を遅らせることになります。企業と連携して、社員の離職を防ぎ、精神的な負担を軽減することで、不登校に悩む社員のパフォーマンスをあげることが企業のパフォーマンスを向上させることにつながるのではないかと考えています。不登校児童生徒を社会につなげることは現在社会が抱えている人材不足の解消にもつながります。今後企業と連携した不登校支援を進めていきたいと考えています。

パルクのビジョンとして、分散化＝小規模の拠点を多数つくることを考えています。対象は小学生ですから、近くないと自分で通えないのです。さらに、子どもの一番の環境は保護者です。その保護者を整えることは、一番の環境調整になります。次に不登校支援専門人材を育成することです。このノウハウが広まればさまざまな場所で不登校支援ができるようになります。そして不登校から脱して社会的に自立すれば現在社会が抱えている人材不足の解消につながるのではないかと考えています。



3月11日 累計887,000円（本例会 3,000円）

ニコニコ箱
ペコペコ箱

○新会員の入会を記念して：大本一城、河野宏明、山下 泉（1口×3）

3/11例会で大本一城会員の入会式を行いました。



大本一城

この度、伝統ある広島東南ロータリークラブへ入会させていただきました大本と申します。この1月より鴻池組の広島支店長として着任して参りました。前任者の東影が大変お世話になりましたが、引き続きご指導、ご鞭撻のほどよろしくお願いいたします。

弊社は1871(明治3)年に創業いたしましたが、広島の地には1954年に営業所を開設しており、70周年の記念すべき年を迎えたところでございます。引き続き広島の皆さまに奉仕する建設会社として、そして当会の会員として相応しい充実した毎日を送って参りたいと存じますので、どうぞよろしくお願いいたします。



まに奉仕する建設会社として、そして当会の会員として相応しい充実した毎日を送って参りたいと存じますので、どうぞよろしくお願いいたします。

日本のロータリークラブについて

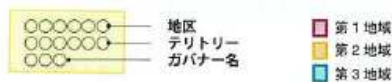
1920 年、当時三井銀行の重役であった米山梅吉等が、東京に日本初のロータリークラブ(RC)を、国際ロータリーから855 番目に認証を受けて創立。太平洋戦争直前の1940 年一度脱退しましたが、1949 年に国際ロータリーに復帰を認められた。クラブ数2,215、会員数84,311 人(2023 年1 月末現在)

【広島のロータリー】

1932 年2 月大阪ロータリークラブをスポンサーとして広島ロータリークラブが創立。以降、広島ロータリーをスポンサーとして設立されたクラブがスポンサーとなり、広島地区のロータリーは14 ロータリーに拡大された。(大竹、廿日市含む)クラブ数14、会員数は957 人(2023 年2 月現在)



日本ロータリー分布図 ROTARY DISTRICTS



■ ロータリーの友ウェブサイト www.rotary-no-tomo.jp に各地区ウェブサイトのURLを掲載しています

